

加吉川

拝殿新築 300人祝う

神吉八幡神社 伝統工法で



真新しい拝殿を前に披露された琴の演奏＝神吉八幡神社

加吉川市西神吉町宮前の神吉八幡神社の拝殿が建て替えられ、竣工祭がこのほど開かれた。地元住民ら約300人が祝った。

拝殿は江戸時代前期の1683(天和3)年に建設された。来年4月、同神社で開かれる国恩祭に向けて、建て替えを計画。氏子らが寄付を募って協力し、今年3月から建て替えて石垣の改修を行い、9月中旬に完成した。

日本料理
しげ真
079
427-4055

新しい拝殿は建築面積50平方メートル。床にはヒノキ、梁には松を使い、金具を使わない伝統的な工法で建てた。今月25日に開かれた竣工祭では、喜多山一洋宮司が祝詞を読み上げ、神事を行った。その後、境内で琴の演奏と人形劇が奉納された。国恩祭実行委員長を務める氏子総代の喜多太見男さん(71)は「歴史の重みを感じる。地域の中で大切にしたい。次の世代につないでいきたい」と話していた。

(津田和納)

Large area containing faint, illegible text and graphics, likely a scan of a document or advertisement page.